



新春いきいきトーク

豊かな人生と夢を語り合う

中澤嗣子さん ◆ 多田区長 ◆ 篠原儀治さん
(大相撲・中村部屋おかみさん) (江戸川区伝統工芸会会長)

区長 あけましておめでとうございます。

篠原・中澤 おめでとうございます。

区長 私が子どものころは、正月という気持ちが高揚しましたね。お二人はいかがでしたか。

中澤 正月は羽子板や凧揚げなどで遊びました。楽しい思い出です。

篠原 私は職人の子でもでしたので、正月も何かと手伝いがあり、なかなか遊ぶ時間がなかったですね。

区長 最近は、正月の光景も変わってきました。

篠原 今の子どもたちは凧揚げをする場所も少なくなっています。昔は時間を見つけて、自分でいろいろと遊び場を作ったりして楽しかったですよ。

区長 今日は、江戸時代中期の姿をとどめる一之江名主屋敷にお集まりいただいています。こういうところに篠原さんが作っている風鈴の音が聞こえたりすると、とてもよい風情ですね。

中澤 そうですね。純日本の囲炉裏の部屋によく合います。

篠原 こういった雰囲気はとも落ち着きます。

伝統を守りつつ

新しい時代への挑戦を

区長 篠原さんは、昨年、江戸川区で初の名誉都民として顕彰されました。このことは、区民の誇りですし、本当にうれしいことですね。また、区では6年ぶりとなる文化賞を受賞されました。心より喜び申し上げます。

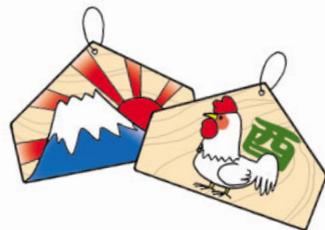
篠原 ありがとうございます。私たちのような伝統工芸者に光を当てていただき、ありがたいことです。同じように携わっている者の励みにもなっています。

区長 貴重な伝統工芸としての江戸風鈴と、それをしっかりと守っている篠原さん個人の努力とが、両面から評価されたのだと思います。

中澤 素晴らしいことですね。

区長 毎年、初夏になると篠原さんがテレビなどに出演され、日本国民みんなが篠原さんの風鈴で季節を感じる。そんなところを見ているとうれしくなりますね。

(2面へつづく)



未来を担う子どもたちのために みんなで耕す土壌づくりを

江戸川区長 多田正見



(1面からつづく)

篠原 私たち家族は長年江戸風鈴を作っていて、今では江戸川の文化の一端を担っているという自負があります。しかし、昭和30年代に風鈴が下火になり、問屋制度が崩れ、職人も減ってしまいました。私どもがこれまでやってこられたのは、厳しい時代に風鈴をまちへ売りに出るなど、様々な努力を続けたからなのです。

区長 大きな変革の時代を耐えてこられたのです。今、江戸川区に伝統工芸が40以上残っていますが、これは大切にしていかなければいけないし、生活の中に取り戻していかなくてはならないと考えています。しかし、夏の風物詩だった風鈴も、音がうるさいとか、マンションには合わないとか言われてしまふ。今の生活様式と必ずしも合っているというわけにはいかないのです、難しいところもありますね。

篠原 伝統工芸も守るばかりではなく、工夫をして今の時代に合ったものにしていく必要があります。

区長 そういう意味では、篠原さんはいまいると挑戦、風鈴を客さんにも楽しんでほしいですね。

篠原 先日、お客さんが「こは老舗なのに見たこともないものばかり作っている」と言うので、「老舗」というのは一番新しいものを作っているところなのです」とお話ししました(笑)。

区長 一昨年から新しい取り組みとして、美術系大学と連携した「えどがわ伝統工芸産学プロジェクト」

相撲部屋から学ぶ 身体を通しての人間教育

相撲部屋から学ぶ 身体を通しての人間教育

区長 中澤さんには、昨年の秋に開学した江戸川総合大学の設立準備委員会委員をしていただきました。7人の委員が構成されていまして、中澤さんからもたくさんよい意見を出していただきました。今、おかげさまで充実した授業が行われています。

中澤 「共育」「協働」の理念を具体化する基盤づくりに関わることができ、貴重な経験になりました。

区長 普段、中澤さん



区長 中澤さんには、昨年の秋に開学した江戸川総合大学の設立準備委員会委員をしていただきました。7人の委員が構成されていまして、中澤さんからもたくさんよい意見を出していただきました。今、おかげさまで充実した授業が行われています。

中澤 「共育」「協働」の理念を具体化する基盤づくりに関わることができ、貴重な経験になりました。

区長 普段、中澤さん

一人ひとりが喜びを持って 豊かに生きられるように

中澤嗣子さん



大相撲中村親方(元関脇富士櫻)夫人。相撲部屋のおかみさんを務める傍ら、東洋英和女学院大学大学院に入学し、人間科学の修士号を取得。平成15年10月から江戸川総合大学設立準備委員会委員として基盤づくりに参画。

区長 相撲界では、厳しい稽古の末に自分自身の型ができると言われていますが、やはり相撲の美しさは自分で作るのですか。

中澤 基本をしっかり教えてもらい、そこから先は自分が努力してどのような個性を出すかということになります。体とか心とか、いろいろなものをよく知って、最高の相撲の型を作り上げる。厳しい鍛錬してできたものは、結果的に美しく見えますね。

区長 本人の努力が大切ですね。野球でも、基本はコーチが教えてくれる。アドバイスマをどうしたらいいとか、あるいは、ピッチングフォームをどうしたらいいのとかいうことは、やはり自分の鍛錬の中で作っていくものです。そうすると、その人の美しいフォームが完成する。相撲も同じですね。

中澤 親方は押し相撲でしたが、非力なので、つっぱり回転数を多くするとか、頭で当たるとか、手で突き放していくとか、いろいろやりまし

区長 相撲界では、厳しい稽古の末に自分自身の型ができると言われていますが、やはり相撲の美しさは自分で作るのですか。

中澤 基本をしっかり教えてもらい、そこから先は自分が努力してどのような個性を出すかということになります。体とか心とか、いろいろなものをよく知って、最高の相撲の型を作り上げる。厳しい鍛錬してできたものは、結果的に美しく見えますね。

区長 本人の努力が大切ですね。野球でも、基本はコーチが教えてくれる。アドバイスマをどうしたらいいとか、あるいは、ピッチングフォームをどうしたらいいのとかいうことは、やはり自分の鍛錬の中で作っていくものです。そうすると、その人の美しいフォームが完成する。相撲も同じですね。

中澤 親方は押し相撲でしたが、非力なので、つっぱり回転数を多くするとか、頭で当たるとか、手で突き放していくとか、いろいろやりまし



た。自分の体に合ったものを、自分で最大限に利用していくことです。

区長 逆に、相手の力士によって自分の取り口を変えるというのはいかがですか。

中澤 自分が押し相撲で思い切りいって負けたとしても悔いはない、自分の型を押し通すという考え方を親方は大切にしています。

区長 かつて、プロ野球で、江夏投手が王選手に対して三振を取りたいという場面、全部ストリートで勝負しました。絶対にストリートで押し通す。それがそのときの江夏投手の心情としては、最も美しい勝負だったのでしょうか。そういう真剣勝負にみんなが魅力を感じるのです。

中澤 そうだと思います。そして、それは日本独特のものなのかもしれません。

区長 日本的な人生の美学ですね。

篠原 私は以前、得意技によって力士のしこ名が付くことがあると聞きましたが、いかがですか。

中澤 いろいろなつけ方がありますが、似たような相撲を取っていた強い力士が過去にいれば、そのしこ名を継ぐということはあると思います。見る側はわかりやすくなり、その人に親しみを持てますね。

区長 ところで、しつけについて、中澤さんはどのようにお考えですか。

中澤 一人前の人間になるためには、しつけが必要だと思っています。一人前と言っても高いレベルではなく、社会の中で普通の常識人として生きていける人間をまず目指すということです。力士の場合、強くなる人はかなり個性的な人が多いので、世の中の最低限の常識かもし

区民が集い地域の誇りとなる 風物詩づくりを進めたい

篠原儀治さん



江戸川区伝統工芸会会長。篠原風鈴本舗代表。昭和11年以来半世紀にわたり、ガラス風鈴を製作し、江戸風鈴と命名。区の伝統工芸の継承・発展のために活躍されています。昭和57年江戸川区登録無形文化財認定。平成16年東京都名誉市民・江戸川区文化賞受賞。

区長 中村部屋は、稽古が厳しいそうですね。

中澤 厳しくても、今の子どもはきちんとして理由がわかっていけば、付いてきます。

区長 篠原さんいろいろな修練を重ねて今日までこられたと思いますし、後継者やお弟子さんに厳しい指導もしてこられたのではないですか。

篠原 そうですね。いろいろな職業がありますが、職人の場合は、まず耐えることが必要です。そして、最後までやり遂げるということです。

区長 中村部屋は、稽古が厳しいそうですね。

中澤 厳しくても、今の子どもはきちんとして理由がわかっていけば、付いてきます。

区長 篠原さんいろいろな修練を重ねて今日までこられたと思いますし、後継者やお弟子さんに厳しい指導もしてこられたのではないですか。

篠原 そうですね。いろいろな職業がありますが、職人の場合は、まず耐えることが必要です。そして、最後までやり遂げるということです。



江戸川総合人生大学設立準備委員会で構想を練る中澤さん(一番左)

「共育」「協働」で江戸川文化を創造し 地域にたくさんさんの感動を

区長 山梨県立美術館が、開館するときにミレーの「種をまく人」という名画を買いました。そのことに関連して、文化とは何かというテーマで、テレビ座談会がありました。そのときに、ある作曲家が、「ミレーの絵というのは、文化ではなくて、文化財だ。多くの人は、文化と文化財を混同している。山梨県立美術館ができたことは素晴らしいし、そこにミレーの絵を展示したことも素晴らしい。けれども、それをもって文化的だと言っているのかどうか。それはただ文化財を手に入れたということですよ」と話されていました。それでは文化とは何かということ、「人間がいろいろな喜びや感動を分かち合いながら、社会の中でいきいきと暮らすこと、それが本当の文化で、それをもっと向上させていこうという努力が必要なのです。そのようにして生まれた文化が、後に残って文化財になる。京都や奈良に立派な寺院や仏閣など、非常に文化的なものが残っている。それは往時の人間の生きざまというものを残している文化財がたくさんあるということなんです。しかし、そのまちが文化的かどうかは別の次元の問題です。だから、ミレーの絵には、貧しかったかもしれないが、大自然の中で農業を中心に生活している人々の素晴らしい生き方というものが残されている、それを描いたものが彼の作品であって、文化財で

すよ」というお話でした。 篠原 つまり、文化とは人が育むものなのですね。 区長 江戸川区も、素晴らしい地域社会や文化的なものを目指しています。このことはつまり、区民が本来に満足して、充実して、感動しながら子どもたちを育てていく。それをみんなが喜びと感ずる。そしてまた、その子どもたちがいろいろなことに取り組み、苦勞し、そして、いい成果を生んでいく。そういうことを目指して、地域社会全体を向上させていくということです。行政もみなさんと力を合わせますが、これはみんなの力でやるべきことだと思えます。「共育」「協働」によって文化的な地域社会の土壌づくりをして、ダイナミックにいろいろな感動をたくさんつくっていく。江戸川区は面白い、楽しいことがたくさんある。風鈴も作りたい、相撲もやりたい、そういう夢を持った未来を担う子どもたちがたくさん出てくるようなまことにしたいですね。 中澤 私が関わった江戸川総合人生大学では、今、第一期生のみなさんが地域のために自分を活かしたいと熱心に学ばれています。こうしたものが実を結び、本当に一人ひとりが喜びを持って豊かに生きられるようになれば、そこに本当の文化ができると思います。 区長 そうです。いい文化が生まれますね。 篠原 私たちも今、子どもたちが伝統工芸に身近に親しめるような機会・環境をできるだけつくっています。これからの地元を大切に、区民が集い、地域の誇りや心のよりどころとなるような風物詩づくりを進めていきたいと思います。 区長 お二人とも、そういういい風土づくりを実践してください。大変うれいことです。心強いことだと思つています。今、江戸川区は14歳までの子どもたちが9万6000人おり、23区では一番子どもが多い区です。この子どもたちを立派に育て上げていける新しい時代の江戸川文化を創っていきましょう。よろしくお祈りします。今日はありがとうございました。 篠原・中澤 ありがとうございます。



(3面からつづく) 区長 例え、基が好きな人は、もともと楽しいことから入っているのだから、苦勞をやってみたいと思う。しかし、やってみると、大変な苦勞が待っている。でも、その苦勞の末にはいい基打ちになれるということですね。 篠原 ぜひ、今の子どもたちに実践してもらいたいことですね。

すよ」というお話でした。 篠原 つまり、文化とは人が育むものなのですね。 区長 江戸川区も、素晴らしい地域社会や文化的なものを目指しています。このことはつまり、区民が本来に満足して、充実して、感動しながら子どもたちを育てていく。それをみんなが喜びと感ずる。そしてまた、その子どもたちがいろいろなことに取り組み、苦勞し、そして、いい成果を生んでいく。そういうことを目指して、地域社会全体を向上させていくということです。行政もみなさんと力を合わせますが、これはみんなの力でやるべきことだと思えます。「共育」「協働」によって文化的な地域社会の土壌づくりをして、ダイナミックにいろいろな感動をたくさんつくっていく。江戸川区は面白い、楽しいことがたくさんある。風鈴も作りたい、相撲もやりたい、そういう夢を持った未来を担う子どもたちがたくさん出てくるようなまことにしたいですね。



休日急病当番医

●診療時間⇒9時～17時(急病のみ受け付け。往診は不可)。 ●外科は救急指定病院(「平成16・17年度くらしの便利帳」154ページ参照)をご利用ください。 ●当番医(変更になる場合もあります)、救急指定病院の案内は下記のところで行っています。聴覚に障害のある方はファクシミリをご利用ください。 ・テレホンセンター☎(3651)5270 } =9時～17時 FAX(3654)4902 ・東京消防庁テレホンサービス☎(3212)2323=24時間 ・東京都保健医療情報センター☎(5272)0303 } =24時間 FAX(5285)8080

1月2日

内小児科 船堀駅前整形外科内科 船堀2-22-14 ☎(5658)8711 生生医院 西小岩5-10-22 ☎(3657)6151 深田医院 東小岩6-19-5 ☎(3657)6051 内 田中医院 平井6-30-1 ☎(3612)3352 眼 つばい眼科クリニック 一之江7-35-29 ☎(5662)5622 耳鼻 浅井耳鼻咽喉科医院 東瑞江1-27-5 ☎(3698)8741

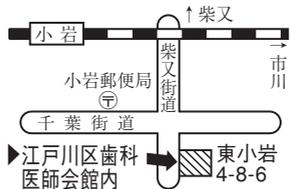
1月3日

内小児科 辰巳内科消化器科クリニック 一之江7-35-29 ☎(5678)5115 堀内クリニック 南小岩6-29-5 ☎(3672)3651 内 おかはら胃腸クリニック 東葛西6-2-13-201 ☎(5659)2155 瑞江脳神経外科医院 南篠崎町3-24-2 ☎(3670)2112 眼 つばい眼科クリニック 一之江7-35-29 ☎(5662)5622 耳鼻 南耳鼻咽喉科医院 中葛西3-34-6 ☎(3688)0937

休日歯科応急診療

1月2～4・9・10日

●診療時間⇒9時～17時(受付時間は、16時30分まで) ●事前に休日専用電話(3672)8215で申し込みの後、受診してください。



1月4日

内小児科 辰巳内科消化器科クリニック 一之江7-35-29 ☎(5678)5115 養命閣医院 南小岩6-18-5 ☎(3673)5333 佐藤医院 東小岩5-20-12 ☎(3657)1414 内 一盛病院 小松川3-10-1 ☎(3637)0050 眼 つばい眼科クリニック 一之江7-35-29 ☎(5662)5622 耳鼻 浅井耳鼻咽喉科医院 篠崎町2-407-2 ☎(5243)8177

1月9日

内小児科 桂医院 平井1-17-4 ☎(3682)3035 安部診療所 一之江4-7-4 ☎(3652)0234 まつかわハートクリニック 一之江7-35-21 ☎(5661)0810 清新外科クリニック 清新町1-4-5-103 ☎(3675)4707 目々澤医院 北小岩4-5-8 ☎(3657)5470 吉岡医院 南小岩5-16-8 ☎(3657)1037 玉城医院 東小岩6-1-3 ☎(3657)1011 高野医院 篠崎町4-12-12 ☎(3670)7550 市原眼科 中央2-17-24 ☎(3653)1064 耳鼻 増田耳鼻咽喉科 篠崎町7-27-23 ☎(3676)4133

1月10日

小 いなげ小児科クリニック 平井5-24-10 ☎(3613)7667 明育小児科 東葛西2-3-16 ☎(3686)0359 きむらクリニック 西一之江3-12-19 ☎(3674)6600 田島クリニック 西葛西6-13-7 ☎(3687)1161 長山医院 西小岩3-21-11 ☎(3657)8789 岡戸医院 南小岩6-20-5 ☎(3657)1004 塚本医院 東小岩5-32-10 ☎(3657)0864 内 渡辺内科クリニック 篠崎町7-3-1 ☎(5243)1871 眼 船堀眼科 船堀3-7-1 ☎(3877)3141 耳鼻 岩井耳鼻咽喉科診療所 南小岩8-17-7 ☎(5694)9455

休日応急当番接(整)骨院

●施術時間⇒9時～17時

1月2日 一沢接骨院 東葛西5-39-17 ☎(3686)6555 加納接骨院 東小岩3-21-2 ☎(3658)7890 1月3日 鈴木接骨院 大杉5-1-19 ☎(5607)4183 我部接骨院 西瑞江3-47-36 ☎(3670)7082 1月9日 寺内接骨院 西小松川町37-16 ☎(3656)3610 三恵接骨院 西小岩2-19-15 ☎(3673)6121 1月10日 嶋村接骨院 西一之江4-9-38 ☎(3674)0065 成光堂接骨院 北小岩2-7-6 ☎(5622)7060

年末年始 休日急病診療所

～今回から2か所で開催しています!～ 日 1月4日(火)まで 時 9時～17時 診療科目 小児科・内科 場 江戸川区医師会館☎(3655)5151/医師会医療検査センター(タワーホール船堀6階)☎(5676)7799=開設時間内のみ



夜間・深夜急病診療

時 21時～翌朝6時 ※年中開設。 診療科目 小児科・内科 場 江戸川区医師会館☎(3651)5270

えどがわ区民ニュース

新春1月号放映中! 夢あふれ未来を築く地域力 ～共育・協働のまち江戸川区～ 場 映像広報係☎(5662)6167

江戸川区成人式

日 1月10日(祝) 場 総合文化センター 問 生涯学習係☎(5662)1628